



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 日本精鉱株式会社

コード番号 5729 URL <http://www.nihonseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木嶋 正憲

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 企画管理部長

(氏名) 渡邊 理史

TEL 03-3235-0021

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

平成25年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	6,045	△3.5	397	△5.6	396	△1.4	241	△3.5
25年3月期第2四半期	6,267	△13.9	421	△37.9	401	△38.3	250	△35.2

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 250百万円 (1.5%) 25年3月期第2四半期 246百万円 (△33.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	19.79	—
25年3月期第2四半期	20.50	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	10,378		4,470		43.1	
25年3月期	10,430		4,282		41.1	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 4,470百万円 25年3月期 4,282百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,400	6.2	720	12.9	670	7.6	410	6.4	33.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	13,029,500 株	25年3月期	13,029,500 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	812,413 株	25年3月期	811,306 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	12,217,867 株	25年3月期2Q	12,219,955 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（以下「当第2四半期」という）におけるわが国経済は、政府によるデフレ脱却・経済再生を目指す政策への期待感から円高の是正や株価の回復が進み、緩やかな景気回復の動きがみられました。しかしながら、海外においては、長引く欧州経済の低迷や新興国経済の減速などもあり、景気の先行きについては、依然として不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く当第2四半期における事業環境は、家電やPC向けは国内需要が低迷しましたが、スマートフォン及びタブレット型多機能端末関連の電子部品向けなどが堅調に推移し、連結ベースでは前年同期比減収、減益となったものの、期初予想を上回る利益を確保することができました。

その結果、当第2四半期の売上高は前年同期比222百万円減収（3.5%減収）の6,045百万円、営業利益は23百万円減益（5.6%減益）の397百万円、経常利益は5百万円減益（1.4%減益）の396百万円、四半期純利益は8百万円減益（3.5%減益）の241百万円となりました。

セグメントごとの業況は次のとおりです。

## [アンチモン事業]

同事業の原料であり、製品販売価格の基準ともなるアンチモン地金の国際相場は、緩やかな下げ基調から、7月中旬以降は上げ基調に転じています。当第2四半期の平均はトン当たり10,142ドルで、前年同期の13,190ドルに比して23.1%ダウンとなりましたが、円高是正がなされたことから、円建てでは4.5%のダウンとなりました。

同事業の販売状況につきましては、家電やPC向けなどが低迷しており、当第2四半期の販売数量は、前年同期比243トン減少（7.5%減少）の2,994トンでありました。

その結果、同事業の当第2四半期の売上高は、販売数量の減少と相場の下落により、336百万円減収（8.9%減収）の3,453百万円となりました。セグメント利益は、海外競合会社との価格競争激化などの影響により、92百万円減益（49.0%減益）の96百万円となりました。

## [金属粉末事業]

同事業においては、自動車部品需要に連動する粉末冶金向け金属粉については、前年同期並みの需要には至っておりませんが、電子部品向け微粉末金属粉については、スマートフォン及びタブレット型多機能端末関連需要が堅調に推移しています。

用途別の販売状況の実績につきましては、粉末冶金向け金属粉の当第2四半期の販売数量は、前年同期比105トン減少（11.9%減少）の782トン、電子部品向け微粉末金属粉は、68トン増加（22.1%増加）の373トンとなり、全体では前年同期比38トン減少（3.2%減少）の1,154トンでありました。

その結果、同事業の当第2四半期の売上高は、付加価値の高い電子部品向け微粉末金属粉の販売数量が増加したことから、114百万円増収（4.6%増収）の2,585百万円となりました。セグメント利益も、微粉末金属粉の販売数量増加により、74百万円増益（35.4%増益）の283百万円となりました。

## [その他]

当第2四半期不動産賃貸事業の売上高は6百万円（前年同期比12.2%減収）、セグメント利益は6百万円（前年同期比12.9%減益）でありました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は6,136百万円となり、前連結会計年度末と比べ31百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が150百万円増加いたしました。原材料及び貯蔵品が197百万円減少したことによるものであります。固定資産は4,237百万円となり前連結会計年度末に比べ20百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が108百万円増加いたしました。有形固定資産が124百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、10,378百万円となり、前連結会計年度末と比べ52百万円減少いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,529百万円となり、前連結会計年度末と比べ78百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が197百万円増加いたしました。短期借入金も107百万円減少、その他に含まれる設備未払金が192百万円減少したことによるものであります。固定負債は2,377百万円となり前連結会計年度末に比べ163百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少149百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、5,907百万円となり、前連結会計年度末と比べ241百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は4,470百万円となり、前連結会計年度末と比べ188百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が四半期純利益により241百万円増加したこと及び配当により61百万円減少

したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は43.1%（前連結会計年度末は41.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、家電やPC向けアンチモン事業が低迷していますが、スマートフォン及びタブレット型多機能端末関連の電子部品向けの金属粉末事業が堅調に推移しておりますので、期初予想からの変更はありません。

なお、通期の個別業績予想の修正につきましては、本日（11月1日）公表の「個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,040,248	2,190,385
受取手形及び売掛金	1,888,087	1,878,141
有価証券	1,000	—
商品及び製品	1,200,872	1,240,576
仕掛品	182,427	183,085
原材料及び貯蔵品	770,831	573,429
その他	90,628	77,147
貸倒引当金	△6,184	△6,067
流動資産合計	6,167,911	6,136,698
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,345,766	1,304,855
機械装置及び運搬具（純額）	1,040,525	963,820
土地	1,478,590	1,478,590
その他（純額）	69,975	63,467
有形固定資産合計	3,934,858	3,810,734
無形固定資産	66,115	61,472
投資その他の資産	257,437	365,501
固定資産合計	4,258,411	4,237,709
繰延資産	4,525	3,770
資産合計	10,430,848	10,378,177

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	889,063	1,086,597
短期借入金	1,987,500	1,879,900
未払法人税等	99,698	158,117
賞与引当金	97,143	96,911
その他	534,357	308,038
流動負債合計	3,607,762	3,529,565
固定負債		
社債	274,000	260,000
長期借入金	1,819,900	1,670,700
退職給付引当金	304,535	306,281
負ののれん	787	—
資産除去債務	35,279	34,917
その他	106,497	105,929
固定負債合計	2,540,999	2,377,828
負債合計	6,148,762	5,907,393
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,126	1,018,126
資本剰余金	564,725	564,725
利益剰余金	2,859,236	3,039,979
自己株式	△146,705	△147,002
株主資本合計	4,295,383	4,475,828
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13,297	△5,044
その他の包括利益累計額合計	△13,297	△5,044
純資産合計	4,282,086	4,470,784
負債純資産合計	10,430,848	10,378,177

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,267,468	6,045,202
売上原価	5,419,138	5,219,577
売上総利益	848,330	825,625
販売費及び一般管理費	427,249	428,056
営業利益	421,080	397,569
営業外収益		
受取配当金	1,016	1,524
負ののれん償却額	15,809	787
為替差益	—	20,829
助成金収入	4,584	450
その他	4,292	6,434
営業外収益合計	25,702	30,024
営業外費用		
支払利息	28,626	20,223
為替差損	8,046	—
その他	8,200	11,068
営業外費用合計	44,873	31,291
経常利益	401,909	396,302
特別損失		
固定資産売却損	2,881	—
固定資産除却損	4,194	2,073
ゴルフ会員権売却損	3,376	—
特別損失合計	10,452	2,073
税金等調整前四半期純利益	391,456	394,229
法人税、住民税及び事業税	147,895	157,293
法人税等調整額	△7,008	△4,897
法人税等合計	140,887	152,396
少数株主損益調整前四半期純利益	250,569	241,833
四半期純利益	250,569	241,833



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	250,569	241,833
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,145	8,252
その他の包括利益合計	△4,145	8,252
四半期包括利益	246,423	250,086
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	246,423	250,086

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	3,789,276	2,470,367	6,259,643	7,825	6,267,468	—	6,267,468
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	15,547	15,547	—	15,547	△15,547	—
計	3,789,276	2,485,914	6,275,190	7,825	6,283,016	△15,547	6,267,468
セグメント利益	189,154	209,134	398,289	7,352	405,641	15,438	421,080

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額15,438千円はセグメント間取引の消去15,438千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	3,453,140	2,585,194	6,038,335	6,867	6,045,202	—	6,045,202
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	19,565	19,565	—	19,565	△19,565	—
計	3,453,140	2,604,760	6,057,900	6,867	6,064,768	△19,565	6,045,202
セグメント利益	96,533	283,181	379,715	6,402	386,118	11,450	397,569

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額11,450千円はセグメント間取引の消去11,450千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。